

会議名	令和 7 年度第 1 回 芦屋町住民参画推進会議			会場	芦屋町役場 44 会議室	
日時	令和 7 年 7 月 29 日（火） 19:00～20:00					
件名・議題	1 令和 6 年度「情報ガイドブック」に関する取り組み実績について 2 その他					
委員の出欠	委員長	内村 尚俊	出	廣橋 智	欠	
	副委員長	福島 直人	出	佐伯 慎也	出	
		石川 智雄	出	上四元 恵子	出	
		山田 寛	出	朝倉 直美	出	
		長沢 正行	出	釘崎 奈緒子	出	
合意・決定事項	○令和 6 年度の取り組み実績について報告した。					

令和 7 年度第 1 回住民参画推進会議議事録（概要）

1 開 会

委員長あいさつ

2 議 事

（1）令和 6 年度「情報ガイドブック」に関する取り組み実績について

【事務局による説明】

資料 1 より、令和 6 年度「情報ガイドブック」に関する取り組み実績について報告した。

【質疑・意見等】

〈委員〉

（1）広報あしやについて、原稿の締切日が広報紙発行の約二か月前であるため、所属する団体の記事を掲載しようとしても間に合わなかったり、事業内容が確定しておらず掲載ができなかったりする場合がある。何か対策はないのか。

〈事務局〉

広報あしやの原稿の締切日については、原稿提出後の編集や印刷作業等の全体的なスケジュールに影響もあるため、前倒しできるかどうかは担当課と検討する必要がある。

しかし、事業内容のすべてが確定していない場合でも、紙面の確保ができる可能性があるため、原稿の締切日前に一度担当課に相談いただきたい。

〈委員〉

（10）アンケート調査の出産祝金アンケートの回収率について、受給者を対象に実施しているにもかかわらず、回収率が低く感じる。どのように実施しているのか。

〈事務局〉

実施方法については、把握できていない。補助金の交付決定時にアンケートの周知等を実施しているかも併せて担当課に内容を確認し、次回会議の際に報告するとともに、本会議でこのような意見があったことを伝える。

〈委員長〉

全対象者にアンケート調査の実施を広く周知し回収率が上がることが、成果につながる。

〈委員〉

（2）ホームページの戸別受信機について、1 回だけの発信だけではなく、重要なことは 2 回連続して発信できないか。

〈委員〉

自治区で行事等の情報発信をする際は 2 回発信をしている。こうすることで高齢者も明確に認識できているため、繰り返し発信することは有効だと思う。

〈事務局〉

戸別受信機については、高齢者を中心に町の情報収集に活用しているため、高齢者目線での意見として、担当課に情報共有させていただく。

〈委員〉

（2）ホームページのトップビュー数について、近隣自治体の件数等比較するものがないと評価が難しいが、把握しているのか。

〈事務局〉

芦屋町ホームページシステムの機能で把握している件数のため、近隣自治体の件数は把握していない。人口規模や開催イベント数が異なるため、単純に件数自体の比較はできないが、担当課に内容を確認する。また、遠賀郡内のトップビュー数調査を行うことも含めて検討し、進捗状況を次回会議の際に報告させていただく。

〈委員〉

(2) ホームページの公式 SNS の発信回数について、公式 LINE の発信回数は増加しているが、Facebook 及び Instagram の発信回数は減少している。3 つの媒体で同じ情報を発信すると認識しているが、媒体ごとの件数の相違に何か理由はあるのか。

〈事務局〉

3 つの媒体で同じ情報を発信しているわけではない。公式 LINE については、町の職員が事業等のお知らせを文章メインで、Facebook 及び Instagram は、町の情報発信を担っている地域おこし協力隊が町のイベント情報等を写真メインで発信を行っている。以上の理由から、発信回数にズレが生じている。

〈委員〉

(7) 町長の手紙、(8) ホームページのご意見・ご提案「ご意見箱」について、解決率はいくらなのか。

〈事務局〉

現在把握しておらず、何をもって解決率なのかの判断も難しい。感覚的に高い割合ではないと思う。意見や要望をいただくものの、土日も資源回収ボックスを開けてほしい等、行政の運営上で難しいものも多い。解決数の割合については、担当課に確認し次回会議の際に報告させていただく。

〈委員〉

いただいた要望について、解決までの経緯を広報紙やホームページ等で公表しているのか。

〈事務局〉

町長の手紙やご意見箱は、開示することを前提としていないため、すべての公表はしていないが、広報紙で一部意見の解決までの経緯をピックアップして公表している。

〈委員〉

(13) 出前町長室について、前提として自治区が依頼して行われるものなのか、それとも町長が直接働きかけるものなのか。

〈事務局〉

自治区からの要望により実施するものである。

〈委員〉

(2) ホームページの公式 SNS に関連する内容になるが、昨年度地域おこし協力隊員が実施した自治区サロンでのスマートフォン教室がすごく好評であった。町が発信している情報を多くの高齢者が知る手段としても有効であるため、本年度も実施いただきたい。

〈事務局〉

本年度も開催予定である。

(2) その他

委員・事務局ともになし

【事務局より事務連絡】

○次回の会議は令和 8 年 2 月～3 月開催予定。